

ASR 5000: ラグ ベースの XGLCs のためのシングル ポイント障害 アラームは無視することができます

目次

[概要](#)

[影響を受ける製品](#)

[CDETS](#)

[症状](#)

[修正](#)

[回避策/リカバリー方法](#)

[原因解析](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

この技術情報は後ポート バウンス リンク集約 (LAG) ポートに ASR 5000 のシングル ポイント障害 (SPOF) アラームに関する問題で簡潔な情報および通知を提供することでした。フォールスアラームは実際約かかわっているべき問題がないとき不必要なチケットを開きますかもしれません。

影響を受ける製品

ラグ ポートとの PDSN、ePDG、Home Agent、GGSN、SGW、MME、等を含むどの ASR 5000 でも影響を受けています。

CDETS

CSCun74136: ASR 5000 アラームは 10 回のギグ イーサネットラインカード SPOF です

症状

ASR 5000 プラットフォームのラグ ベースの 10 GB ラインカード (XGLC) のためのシングル ポイント障害 (SPOF) アラームの不必要な引き起こすことに関する問題があります。ラグ ポートが (トラップ PortDown) ダウン状態になる時はいつでも、CardSPOFClear トラップは引き起こし、ポートが検出される時はいつでも (トラップ PortUp)、CardSPOFAlarm トラップは引き起こします。ポート バウンスは PSC 移行、npumgr 再起動、ハードウェア障害、シャーシ リロード、または外部に引き起こされたリンク問題を含む原因のいくつものためである場合もあります。次の断片はポート 19/1 バウンスのためのそれぞれ SPOF トラップを示します、その間ラグ スイッチオーバは頻繁にプロセスで跳ねるかもしれないすべてのポートのためのトラップという結果に終わります。

```
1 21 07:35:55 2014 1503 EntStateOperDisabled Port(19/1) Admin: :
1 21 07:35:55 2014 93 CardStandby 19 10
1 21 07:35:55 2014 140 CardSPOFClear 19 10
1 21 07:40:36 2014 1025 PortUp 19 1 10G
1 21 07:40:51 2014 139 CardSPOFAlarm 19 10
```

、SNMPトラップに加えて展開された v15.0 で開始して 2015 年 1 月にアラーム メカニズムはまた知らせられ始めました。ここに例からの一致するアラームです:

ID

```
-----
-----
-----
-----
```

19 **January 21 07:40:51** 5769809167128920064

SLOT 19 10 10 SLOT 20

修正

今後のバージョンはラグまたは他のコンフィギュレーションのための SPOF トラップおよびアラームを抑制する機能を必要であれば可能にするかもしれません。

回避策/リカバリー方法

ラグ設定されたカードのための SPOF アラームは原因解析で説明される原因ごとに単に無視され、クリアすることができます。それが望まれる場合報告されるアラーム ID の規定によってクリア alarm コマンドがすべての顕著なアラームを (を含む非SPOF 物) クリアしたり、またはちょうど特定の SPOFs をクリアするのに使用することができますか。顕著なアラームを[詳細表示]表示して下さいか。上述の例に関しては:

クリア アラーム ID 5769809167128920064

または

クリア アラームすべて

注: (タイムスタンプによって立証される) アラームは新しいアラームが存在 1 つを取り替えれば別のポート バウンスが発生しなければ不明確に残ります。

原因解析

ラグの設計が原因で、カードの冗長性はラグによってすべてのラグ設定されたカードが操作上状態アクティブ/スタンバイ常にあること行われ、水平なカードでそのような物行われません-それらのどれもスタンバイではないです。従ってラグ設定されたカードのための構成は冗長性を規定しません。

show port

...

23: 26:

Card Type: 10 : 10

: : Active

: :

SPOF

19: LC 10 3

20: LC 10 4

21: LC 1000 5

22: LC 1000 6

23: LC 10 7

24: SPIO I/O 8

25: SPIO I/O 8

26: LC 10 10

27: LC 10 11

28: LC 10 12

29: LC 10 13

30: LC 10 14

その間、非ラグカードのための構成は冗長性を規定します。たとえば、SPOF アラームに重要性があり、調査されれば、ラグポートがない構成はここにありません。以下はアクティブ/スタン

バイナリな XGLCs のそれぞれペアを示すカード表です。

カード 19

20 と冗長

#exit

カード 23

26 と冗長

#exit

カード 27

28 と冗長

#exit

カード 29

30 と冗長

#exit

[local]ASR5000>

SPOF

...

19: LC 10 No3

20: LC 10 - 4

21: LC 1000 5

22: LC 1000 6

23: LC 10 7

24: SPIO I/O 8

25: SPIO I/O 8

26: LC 10 - 10

27: LC 10 11

28: LC 10 - 12

29: LC 10 13

30: LC 10 - 14